

要望事項	要望内容	回答
<b>輸送力増強</b>		
<b>1 新線・線増計画</b>		
(1) 最終電車運転時刻の繰下げ	最終電車については、下り藤沢駅発が23時49分、上り藤沢駅着が23時38分着となっておりますが、これ以後も藤沢駅に発着するJR東海道線、小田急江ノ島線の電車は多数あることから、最終電車の運転時刻を繰下げられるよう要望いたします。	最終電車から始発電車の間で実施する鉄道保守に関わる夜間作業の実施において、当社は車両自体の大きさが小さく、また急曲線で沿線民家が接近している箇所が多く存在することから、他社で使用しているような大型保守機器等の導入は難しく、作業員による手作業を主体として行っており、平成27年1年間の終電後の夜間作業日数は266日となっており、終電時間が遅くなり作業時間が短くなることで年間の保守計画への影響が大きい、現状では最終電車の運転時刻繰下げは難しいものとなっております。
(2) 輸送力の増強	平成24年4月より、来訪者の行動変化を促す等のピークカット施策の一環として、アフタヌーンパスを販売していただき、ソフト面での混雑緩和に努めていただいております。 しかしながら、ゴールデンウィークやアジサイの開花時期といった観光シーズンになりますと、鎌倉駅や長谷駅は、依然として車内のみならず、ホーム上や駅周辺にも利用者が滞留し、混雑することで、遅延等が生じており、定時性が確保できない状況となっております。 このため、市民が利用する際も、乗車までに長い待ち時間が生じるなど、市民生活に大きく影響を及ぼしている状況です。 については、運行間隔の短縮等を含めたピーク時に対応できる輸送力の増強を要望いたします。	鎌倉駅、長谷駅については、主要観光施設も多く、年間をとして土休日には多くのお客様にご利用いただいていることから、当社線においては混雑区間となっております。そのため、駅係員の増員やガードマンの配置を行ない、駅改札口付近、ホーム等の乗客整理を行っておりますが、現状の施設では、4両編成、12分間隔の列車運行が最大限であり、駅混雑、列車遅延の解消は困難となっております。 しかし、平成32年開催の東京オリンピック・パラリンピックを控え、更にお客様の増加も予想されることから、鎌倉駅～長谷駅間の輸送力増強について、外部機関への調査依頼も行いながら検討を進めております。なお、輸送力増強施策の実施においては極楽寺駅改良等が必要であることから、神奈川県及び鎌倉市におかれましては、ご理解ご協力を賜りたくお願い致します。

要望事項	要望内容	回答
<b>利便性向上</b>		
<b>1 駅施設等の整備</b>		
(1) 高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の改善等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」を踏まえ、高齢者、障害者等が利用しやすいような駅施設(階段手すり、トイレ、視覚障害者用点字ブロック・音響音声案内装置等の設置、自動券売機の点字シールによる表示、聴覚障害者が視覚的に情報を得ることができる電光掲示板の設置等)の改善や利用者への心のバリアフリーの啓発について、引き続き取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>また、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に沿った駅の段差解消を着実に進めていただき、感謝申し上げます。今後も、バリアフリー対応の推進とともに、妊産婦・乳幼児連れの保護者が安心して利用出来るような施設(子どもサイズの便器・手洗い器・ベビーベッド、授乳室等)の整備を要望いたします。</p> <p>さらに、心肺停止状態に陥った急病人に対するAEDの使用は、その急病人の予後に大きく影響するため、現在有人駅(9駅)に設置いただいているAEDについて、他の6駅にも設置いただくよう要望いたします。</p>	<p>高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等を考慮した駅施設の改善については、平成27年度に車椅子用昇降機による腰越駅バリアフリー化工事が完了し、平成26年11月より供用を開始しています。稲村ヶ崎駅は平成27年5月よりバリアフリー化工事着手し、平成28年度中にスロープによるバリアフリー化が図られる予定です。七里ヶ浜駅につきましては既存駅でのバリアフリー化が難しい事に加え、乗降人員が増加している中で現状でのホーム幅員では手狭であり、また、列車進入時の危険性も指摘されていることから、七里ヶ浜駅移転によるバリアフリー化を計画し、以前より神奈川県及び鎌倉市と協議を重ねてまいりましたが、駅移転に伴う駅前広場等の整備について調整が図れないことから、暫定的な対応を再度検討しております。また、その他の施設につきましては、改修計画に合わせて可能な範囲内で進めてまいります。更に、AEDにつきましては、現在、全ての有人駅に設置しておりますが、無人駅は、取り扱う駅係員がいない事や、管理の問題等により設置は難しいものとなっております。なお、全ての駅係員が普通救命講習を受講し適切な対応ができるよう努めており、今後も継続して実施してまいります。</p>
(2) 鎌倉駅構内の整備	<p>鎌倉駅の混雑対策については、これまでご要望させていただいておりましたが、ゴールデンウィークやアジサイの開花時期といった観光シーズンになりますと、車内のみならずホーム上では身動きがとれないほど大変混雑し、容易に乗降等ができない状況です。</p> <p>また、近年、インバウンド旅行者は増加傾向にあり、平成32年度には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定され、セーリング競技の会場が江ノ島に選定されていることを踏まえると、ホーム等の駅構内における利用者へのより一層の安全性確保に取り組んでいく必要があります。</p> <p>については、配置人員の増強などこれまで取り組まれているソフト対策に加え、ハード対策として、ホームの拡張等を含めた駅構内の整備を要望いたします。</p>	<p>鎌倉駅の混雑緩和につきましては、現在鎌倉駅～長谷駅間の輸送力の増強について調査、検討しており、極楽寺駅の改良についてご協力をお願い致します。またホームの安全対策についても引き続き検討しておりますが、JR東日本との接続駅でもあることから、抜本的な改善には、以前より鎌倉市で進めております鎌倉駅西口再開発計画を積極的に推進して頂きますようお願い致します。</p>
<b>その他</b>		
(1) 自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進	<p>自転車等駐車場の設置については、用地の確保を含め各自治体において鋭意努力しておりますが、駅周辺には適地が少なく苦慮しております。</p> <p>については、自転車やバイクの利用者の大部分が通勤・通学者であることから、用地の提供及び確保、施設の設置や維持への助成等、放置自転車対策の推進について、積極的に取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>なお、藤沢市では、藤沢駅周辺地区再整備構想・基本計画に基づく事業と連携した駐輪場施設整備の検討を行っておりますので、貴社におかれましては自転車等駐車場の管理運営・江ノ電用地の提供等についてご協力をお願いいたします。</p>	<p>自転車等駐車場用地の提供については、藤沢駅、稲村ヶ崎駅、極楽寺駅にて行っております。今後も出来る限りの協力を検討してまいります。</p>